

『地域づくり部会』について(案)

1 メンバー選定について

①ダム撤去を見据えた『地域の振興』という観点に基づき、八代市において主体的に選定

②八代市による候補者案

推薦団体	候補者	性別	年齢	備考
関係地域振興会(*1)	西部 松本 真佐彦	男	60代	振興会会长
	中谷 山方 信介	男	60代	振興会会长
	藤本 高宮 秀子	女	60代	下葉木市政協力員
	中津道 山口 芳幸	男	60代	
	田上 谷口 信吾	男	50代	破木市政協力員
住民自治協議会(*2)	坂本 桃子	女	20代	百済来地域
	深田 剛大	男	20代	藤本地域
	大塚 松美	男	60代	鮎帰地域
	松嶋 一実	男	60代	協議会事務局長
坂本町市政協力員会(*3)	平野 和臣	男	60代	校区会役員
	中山 修一	男	60代	校区会副会長
地域づくり団体	船津 信行	男	60代	球磨川漁協
	井樋口 誠司	男	50代	NPO法人坂本再生プロジェクト(SSP)
オブザーバー	八代市坂本支所			
	県南広域本部			

*1 坂本町全体で8つの地域振興会があり、地域毎にどんどや、七夕、ウォーキング会等の行事を実施

*2 H26年4月に八代市市民活動政策課による主導で市内の中学校区単位毎に組織

各地域振興会を包括する組織として位置づけられているが、具体的な活動はこれから(現在、「まちづくり計画」策定中)

*3 坂本町では、70人の市政協力員で構成

2 事務局について

荒瀬ダム撤去室と八代市企画振興部との共同事務局

3 スケジュール

本協議会での正式承認を経た後、本年9月を目途に第1回会議を開催

〈裏面あり〉

〈参考〉第10回地域対策協議会及びその後の部会での意見

- ・地域づくり部会は、県・市の協議の中で進めていくこととなるが、球磨川の再生と住民生活の向上が一番の課題であろうと思っている。
- ・少子化や高齢化が起こっていく中で、将来を見据えて、この地区をどのように活性化させていくのかという根本的な議論が必要であり、「地方再生」という国の施策と連動させた形で対応することが必要。
- ・荒瀬ダム撤去が成功したと言われるためには、地域の活性化が是非とも必要。
- ・地域づくり部会は時宜を得た提案であり、大いに進めてほしい。
- ・住民自治協議会ともタイアップしながら進めていきたい。
- ・球磨川再生を話し合う場を設けることは大賛成。魚影豊かな球磨川が復活することによって、県内外から人々が訪れるなどを期待したい。現在の球磨川には、漁業をはじめ農業用水、工業用水、レジャーなど様々な用途があり、互いに共存しながら、それぞれの目的を果たしていく必要があり、この場を通じ、多彩なメンバー間で方向付けを行っていく必要がある。
- ・2年後、3年後という先を見越したビジョンの基で議論を重ねてほしい。
- ・地域づくり部会の中身が重くなるにつれ、協議会で積み残している課題に係る協議が希薄にならないことを望みたい。
- ・外来魚やカワウの弊害についてもしっかりモニタリングしていってほしい。
- ・旧坂本村時代に、ダム撤去等に関する意見集約を行った。部会の議論が今後どのように進展するかは分からぬが、球磨川を中心とした坂本地域の振興というテーマについての当時の人々の多彩な意見が出ており、参考にされたい。
- ・荒瀬ダムは県の産業基盤として重要な役割を担ってきた歴史があり、その功績は相当なものと思う。その意味において、ダム撤去完了の際には、記念碑やモニュメントなどを造ってほしいという思いがある。